

強制土地取上ニ直關セル

南加賀屋新出ト小作人ノ窮狀

- 一、南加賀屋新出ノ現狀
- 二、南加賀屋新出ノ沿革
- 三、土地ニ對スル小作人ノ努力
- 四、小作人對地主トノ關係
- 五、小作人ノ經濟狀態
- 六、土地ノ強制取上トソノ影響

(一) 南加賀屋新出ノ現狀

南加賀屋新出ハ大阪市住吉區南加賀屋町字五百井、西野、木谷ニ在ル土地ヲ總稱シ現ニ耕作ニ從事スル田地ハ五十數年余歩テアル。往昔磯井新出又ハ加賀屋新出ト稱シ面積二百余町歩アツタガ大阪市ノ膨脹ニヨリ地價暴騰シ地主ノ投機的慾望ノタメ續々土地取上ヲ強制サレ成ルモノハ住宅地ニアルモノハ荒廢スル儘放置サレ現在ノ如ク耕作田地ハ減少シタ。

然シ農民ハ次カラ次ヘト減少シテ僅カニ殘ツタ土地ヲ最大限ニ利用シ莫大ナル資本ト勞力ヲ投ジテ集約的經營ヲ行ヒ極度ノ節約ヲ以テ最低ノ生活ヲ維持シテキル

之等農民ハ南加賀屋町全戸數四百五十戸ノウチ三分ノ一ニモ充タヌ百二拾戸(農業日傭労働者其他農業ニ多少干係ヲモツモノヲ入レテ)デハアルガ永年ノ土着ト傳統的慣習ノタメ南加賀屋町ハ住民ノ中壓トシテ公私ノ事業自治行政上等ニ屬ケル重要ナル役割ヲ果シ最大ノ負擔